

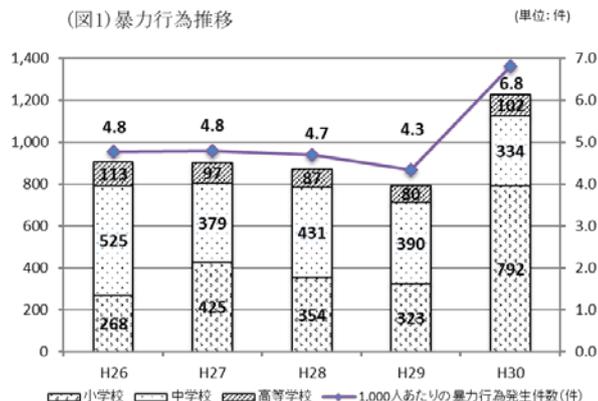
【別紙】

平成 30 年度 公立小中学校及び県立高等学校における暴力行為の状況

1 概要 (図 1 参照)

- 平成 30 年度の公立小中学校及び県立高等学校における暴力行為発生件数は 1,228 件で、平成 29 年度 (793 件) と比較して 435 件増加 (前年度比 54.9%増)。
- 公立小中学校及び県立高等学校における 1,000 人あたりの暴力行為発生件数は 6.8 件で、平成 29 年度 (4.3 件) より 2.5 件増加。

(図1) 暴力行為推移



2 形態別状況 (表 1 参照)

- 形態別では、生徒間暴力が 729 件 (構成比 59.4%) で最多。
- 次いで対教師暴力 350 件 (同 28.5%)、器物損壊 140 件 (同 11.4%)、対人暴力 9 件 (同 0.7%) の順。

(表 1) 暴力行為推移 (形態別)

(単位: 件)

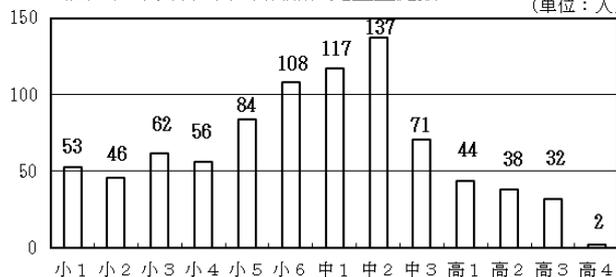
	H26	H27	H28	H29	H30	構成比
対教師暴力	194	171	132	157	350	28.5%
生徒間暴力	591	597	610	535	729	59.4%
対人暴力	18	9	12	8	9	0.7%
器物損壊	103	124	118	93	140	11.4%
計	906	901	872	793	1,228	100.0%

3 学年別状況 (図 2 参照)

- 学年別加害児童生徒の総数は 850 人で、平成 29 年度 (751 人) より 99 人増加。
- 学年別では、中学 2 年生が 137 人 (構成比 16.1%)、中学 1 年生 117 人 (同 13.8%)、小学 6 年生 108 人 (同 12.7%)、小学 5 年生 84 人 (同 9.9%) の順。

(図 2) 暴力行為学年別加害児童生徒数

(単位: 人)



4 校種別状況 (表 2 参照)

- 小学校が 792 件 (構成比 64.5%) で最多。続いて中学校 334 件 (同 27.2%)、高等学校 102 件 (同 8.3%) の順。
- 平成 29 年度と比較すると、小学校で 469 件の増加。中学校で 56 件の減少、高等学校で 22 件の増加。

(表 2) 暴力行為推移 (校種別)

(単位: 件)

	H26	H27	H28	H29	H30 (構成比)
小学校	268	425	354	323	792 64.5%
中学校	525	379	431	390	334 27.2%
高等学校	113	97	87	80	102 8.3%
計	906	901	872	793	1,228 100.0%
増減 (▲) 率 (%)		▲ 0.6	▲ 3.2	▲ 9.1	54.9

5 加害児童生徒実人数 (表 3 参照)

- 小学校が 367 人 (構成比 46.5%) で最多。続いて中学校 309 人 (同 39.2%)、高等学校 113 人 (同 14.3%) の順。
- 平成 29 年度と比較すると、小学校で 152 人の増加。中学校で 74 人の減少、高等学校で 13 人の増加。

(表 3) 加害児童生徒実人数推移 (校種別)

(単位: 人)

	H26	H27	H28	H29	H30 (構成比)
小学校	191	308	311	215	367 46.5%
中学校	454	369	387	383	309 39.2%
高等学校	132	113	100	100	113 14.3%
計	777	790	798	698	789 100.0%
増減 (▲) 率 (%)		1.7	1.0	▲ 12.5	13.0